

# 褥瘡 (床ずれ)

## 知っておきたい基礎知識と当院の取り組み

入院が長期にわたる場合、課題となるのが「褥瘡」への対応です。褥瘡とは長期間、同じ姿勢で寝たきりになった際、体とベッドが接触している個所の血行が悪くなり、周辺組織が壊死を起こすもので、「床ずれ」ともいわれます。

抵抗力のない高齢者に多く発生しやすく、全身状態の観察、適切な体圧分散マット（エアーマット・夢柔力マット）や体位変換枕の使用、寝衣のしわ伸ばし、一定時間毎

の押しめ交換、体位交換など、統一したケアを行う必要があります。栄養状態が悪くても治りにくくなるため、食事摂取量が少ない場合には高栄養のゼリーやプリンなどを食事に追加するなど、バランスのとれた栄養補給も必要です。

当院では月1回褥瘡委員会を開き、褥瘡のある患者様の報告を各病棟から受け、処置方法や栄養状態について情報交換を行っています。またリハビリテーション部と連携をとり、患者様ごとの適切な体位変換方法や、体位変換枕の種類を検討。検討結果を写真にしてベツトサイドに掲示し、統一した看護、介護ができるようにしています。また、症状がない患者様に

対しても皮膚科の医師が随時診察するなど、日ごろから褥瘡のできやすい部位の観察を行い、早期発見、早期処置に努めています。

■褥瘡の原因は？  
褥瘡の原因は、外的因子と内的因子に分けられます。外的因子とは、体圧、摩擦、ずれなど、外から加わる力の影響が組織内部に及ぶもの。内的因子は加齢、低栄養、麻痺など、体の中の状態が皮膚に作用するものです。褥瘡の半分以上は仙骨周辺にできますが、そのほか肩甲骨、腸骨、大転子部、かかとなど、下に堅い骨があり、体重のかかるところがでしやすい部位です。

■対処の注意点は？  
褥瘡の処置は、明らかに

## 褥瘡の段階別症状

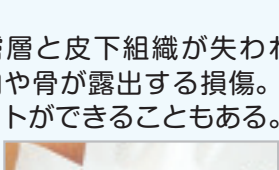
Ⅰ 皮膚が赤くなり、圧迫を取り除いても消えない状態。



Ⅱ 皮膚が破けて痛みがあり、水泡、びらんの状態。



Ⅲ 皮膚組織がなくなり、潰瘍が皮下組織まで及んだ損傷。ポケットができることもある。



Ⅳ 皮膚層と皮下組織が失われ、筋肉や骨が露出する損傷。ポケットができることもある。



## 改善事例

### 総合的なケアが功を奏し、医師も驚く劇的改善 褥瘡・寝たきりから歩いて自宅へ。

褥瘡に対しては、単に患部の治療を行うだけでなく、患者様の生活全体を考えた総合的なケアが必要です。当院で回復された方の事例をご紹介します。

Aさんは、長期間の寝たきりと低栄養により、尿留置カテーテル挿入し仙骨部にステージⅣの褥瘡ができた状態で当院に入院されました。浸出液が多く、1日2回の褥瘡

交換を実施し、月2回、皮膚科医が診察を行いました。

褥瘡処置のほか、職員の声かけや関わり、歩行訓練（リハビリ室、病棟内）などによって、まず食欲とADL（食事や移動など、日常生活の動作）が向上しました。それによつて栄養状態が改善し、褥瘡の経過が良好に。

その後、ステージⅡまで回復し、自力歩行にて

自宅退院を迎えることができました。

自宅に帰るといふ目標が活動性を上げ、自宅退院に結び付いたと考えられます。

尿留置カテーテル除去のため、泌尿器科受診した際「歩いて受診されたことにビックリした。これまで良くなっているとは思わなかった。」と医師が驚くほどの回復ぶりでした。

現在は、褥瘡が治癒し、自宅周りを散歩されているとのことです。

（れもん棟 看護師）

褥瘡対策委員会 姫野茂子

褥瘡の経過が良好に。

褥瘡の経過が良好に。

褥瘡の経過が良好に。

## 当院で使用しているクッションについて

日々のほとんどをベッド上で過ごされる寝たきりの方のポジショニングは、それ自体が治療と呼べるほど重要なことです。褥瘡のほかにも拘縮（関節が動きづらくなること）や誤嚥性肺炎の予防といった観点からも、ポジショニングが検討されなければいけません。



当院では、福祉用具会社㈱シルバーヤマサキ様のご協力で、病院スタッフの学習会、様々な商品の試用を行い、その結果、ウェルピークッション（ブーメランタイプ、ウェーブタイプ）の選定、購入に至りました。特に褥瘡に関しては、夢柔力マットとともに必要不可欠なものとして、看護師や介護士、リハビリスタッフ共同のポジショニング委員会によって有効的に活用しています。

## 3月 外来診療表 ※4月から金曜日の夜間診療が月曜日に変更になります。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前 (9:00~12:00)	大野 重見	重見	大野	重見 眞鍋	大野	3日、17日 大野 10日、24日 重見
	夜間			大野		眞鍋	31日 眞鍋
整形外科	午後				〇(13:30~15:00) ※初診受付14:00まで		
皮膚科	午前		6日 野村				

## お花見

### 開催のお知らせ

4月7日(土) 入院患者様対象に、お花見を予定しています。ご家族の多くの来院お待ちしております。お花見により延期する場合があります。ご了承ください。

